



中部電力パワーグリッド

別紙



2023年4月の 最終保障供給料金見直しの 概要について

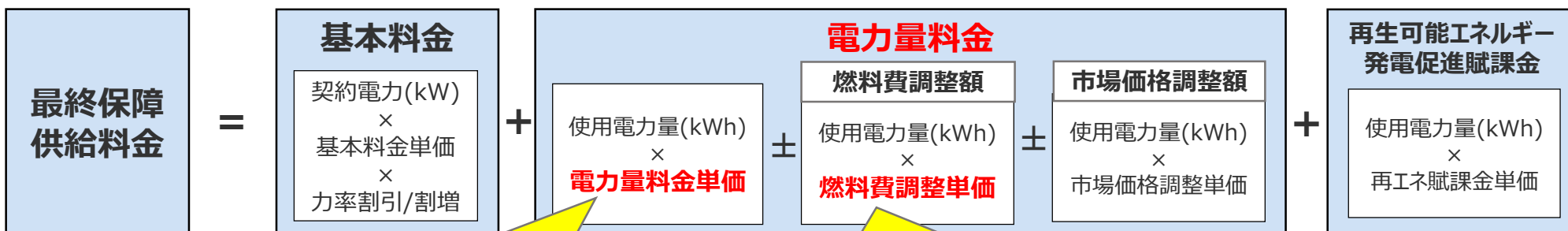
2022年11月10日

見直しの概要

- 現在、最終保障供給料金は、中部電力ミライズが設定している標準料金メニューの2割増しに相当する※1料金に市場価格調整額を反映したものと設定しております。

※1 1年未満の使用を前提とする臨時メニューに相当。

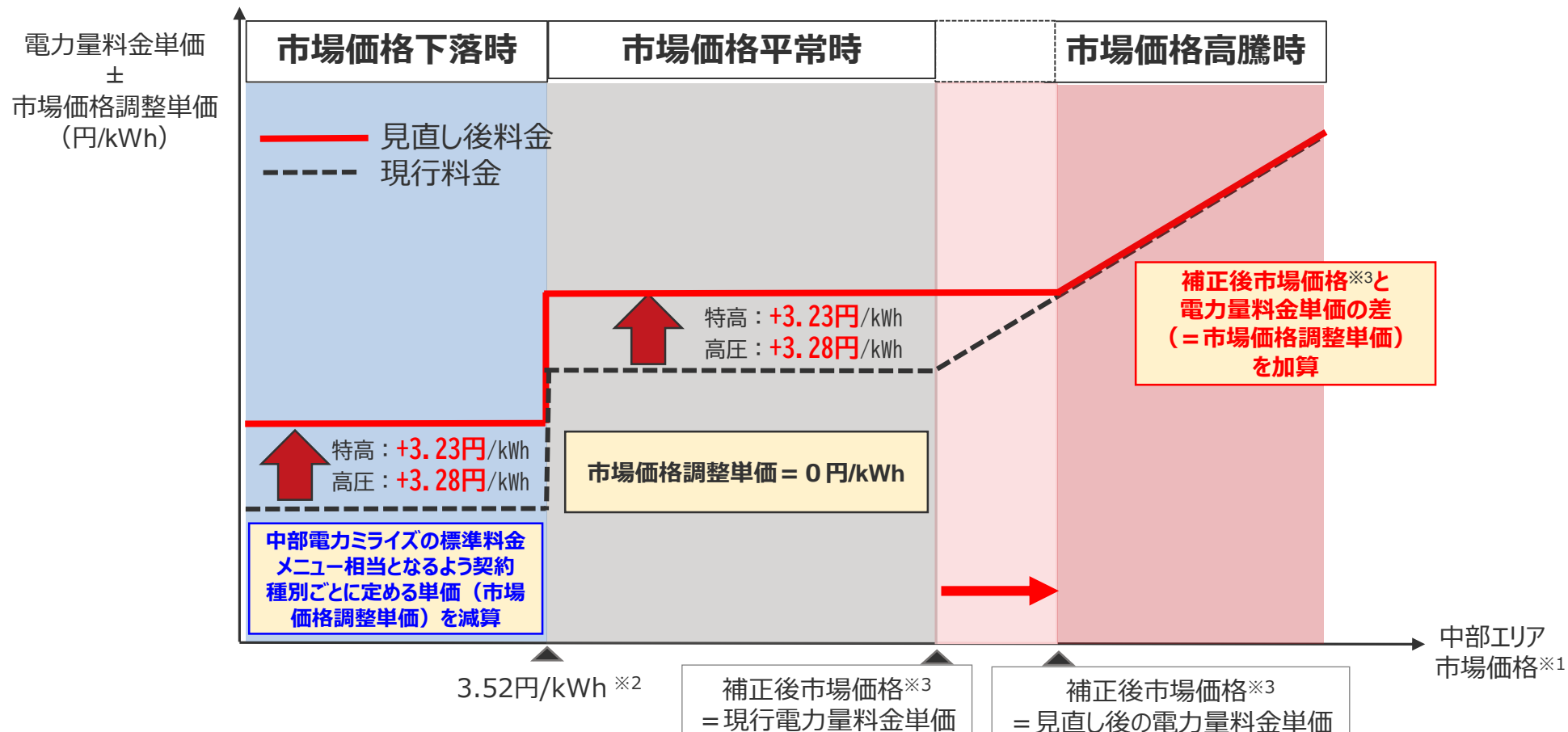
- このたび、中部電力ミライズによる標準料金メニューの見直し公表を受け、最終保障供給料金においても、その内容を踏まえた見直しを実施いたします。 (2023年4月実施予定)
- なお、見直し後の最終保障供給の料金単価については、中部電力ミライズによる見直し後の標準料金メニューの料金単価公表後、改めてお知らせいたします。



見直し① 電力量料金単価の見直し
特別高圧：+3.23円/kWh
高圧：+3.28円/kWh

見直し② 燃料費調整単価の見直し
・燃料価格反映部分の算定諸元の見直し
・卸市場単価の反映

電力量料金単価の見直し（1）



(注) 上記には、燃料費調整単価を含みません。実際のご請求にあたっては、燃料費調整単価（月毎の燃料価格・市場価格によって変動）が加減されます。

※1 市場価格は、一般社団法人日本卸電力取引所（JEPX）にて公表されます。（<http://jepx.org/market/index.html>）

※2 2019～2021年度で最も安い月間平均価格。（中部エリアの場合、2020年4月21日～同年5月20日が該当。）

※3 中部エリアの卸電力市場価格（損失率・消費税を加味後）+ 託送供給等約款における電力量料金単価。

電力量料金単価の見直し（2）

<市場価格平常時>

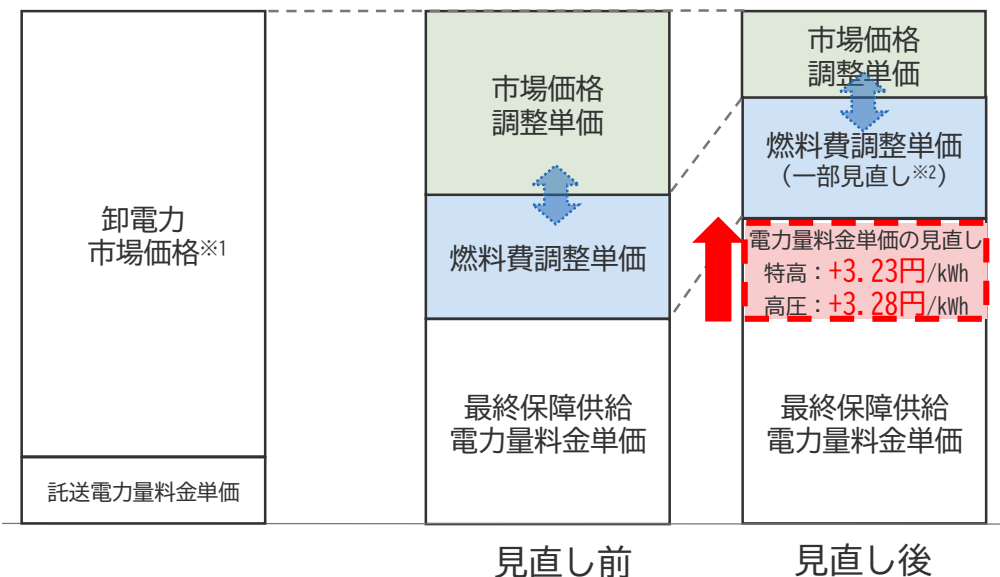
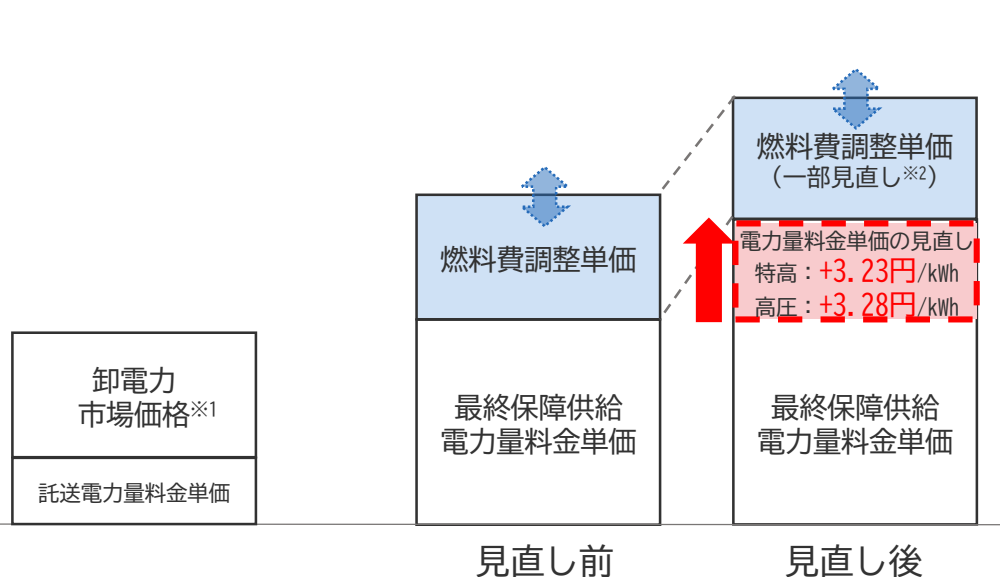
- **燃料費調整単価を加算・減算する前の電力量料金単価は値上げとなります。**（燃料費調整単価の変動により、実際のご請求金額は減少する可能性もございます。）

卸電力市場価格※1に託送供給等約款における電力量料金単価を加えた金額が電力量料金単価（燃料費調整単価を加算・減算した値）を下回る場合、市場価格調整単価は0となります。なお、卸電力市場価格※1が3.52円/kWhを下回る場合、約款で定める市場価格調整単価を減算いたします。

<市場価格高騰時>

- **市場価格調整単価加算後の電力量料金単価は、見直し前後で、変わりません。**（見直しにより市場価格調整単価加算前の電力量料金単価が増加した分、市場価格調整単価が減少いたします。）

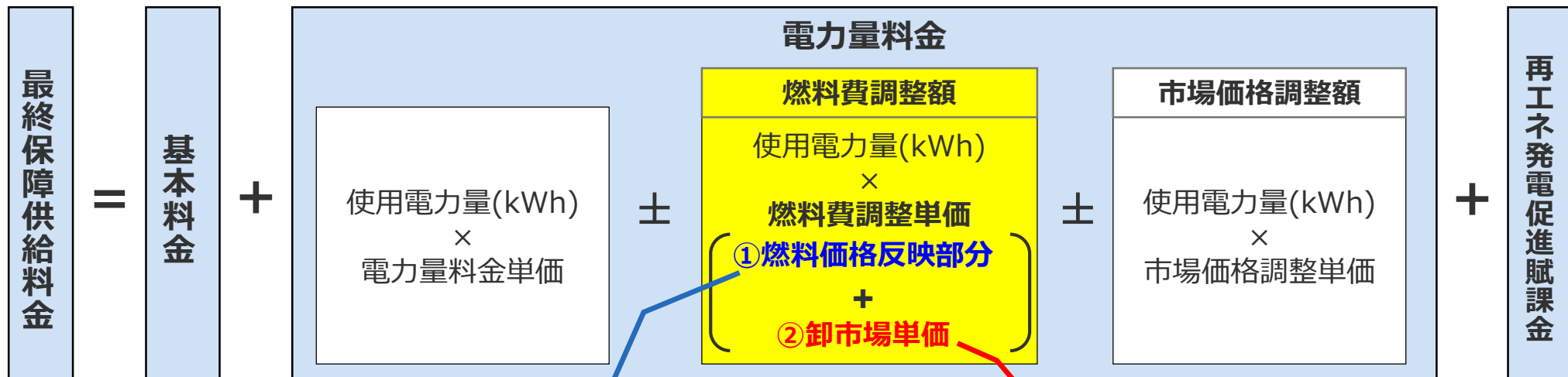
卸電力市場価格※1に託送供給等約款における電力量料金単価を加えた金額が電力量料金単価（燃料費調整単価を加算・減算した値）を上回る場合、市場価格調整単価が加算されます。



※1 一般社団法人日本卸電力取引所（JEPX）が公表する卸電力市場価格（中部エリア）のご使用月の前々月21日～前月20日の平均値に、消費税相当額、損失率を加味したもの。

※2 見直し後の燃料費調整単価 = 燃料価格反映部分（見直し前の燃料費調整単価に相当）+ 卸市場単価

燃料費調整単価の見直し



【①燃料価格反映部分】

- ・見直し前の燃料費調整単価に相当します。
- ・原油・LNG・石炭それぞれの3カ月間の貿易統計価格にもとづき算定し、燃料価格の変動を料金に反映します。
- ・今回、算定諸元の見直しを実施します。

【②卸市場単価】（新設）

- ・中部エリアの卸電力市場価格実績にもとづき算定します。
- ・卸電力市場価格の変動を料金に反映します。

モデル試算

■ 2022年12月分ご請求金額に適用する燃料価格・市場価格等をもとに、今回の見直しを反映したと仮定した場合のモデル試算は以下のとおりです。

試算条件	電力量料金見直し単価 (試算①②共通)		平均燃料価格 2022年7月1日～9月30日の 貿易統計CIF価格を使用		新たな燃料費調整単価の参照する市場価格		市場価格調整単価の参照する市場価格			
	高圧	+3.28	見直し前	93,300円/kL	試算①	26円79銭	2022年7月1日～9月30日の 卸電力市場価格の平均	試算①	19円92銭	2022年9月21日～10月20日 の卸電力市場価格の平均
			見直し後 (試算①②共通)	91,300円/kL	試算②	37円00銭	試算①から約10円上昇した 場合	試算②	30円00銭	試算①から約10円上昇した 場合

(税込)

	試算① (市場価格平常時)		試算② (市場価格高騰時)	
	見直し前	見直し後	見直し前	見直し後
基本料金	167,766円	167,766円	167,766円	167,766円
電力量料金	370,000円	435,600円	370,000円	435,600円
燃料費調整額	211,400円	208,400円	211,400円	229,600円
市場価格調整額	0円	0円	155,200円	71,400円
再生可能エネルギー 発電促進賦課金	69,000円	69,000円	69,000円	69,000円
ご請求金額	818,166円	880,766円 (+7.7%)	973,366円	973,366円 (±0%)

< モデル >

● 契約種別	最終保障電力A
● 供給電圧	高圧 (6kV)
● 契約電力	100kW
● 使用電力量	20,000kWh
● 力率	100%
● 検針日程	01～19日程

< ご留意いただきたい事項 >

- 実際の2022年12月分ご請求金額には見直し後料金は適用されません。
- 実際のご請求金額は燃料価格、卸電力市場価格、契約電力、使用電力量等により変動するため、モデル試算とは一致しない可能性がございます。

参考 燃料費調整単価の見直し詳細について

中部電力ミライズの標準料金メニューにおける燃料費調整単価の見直し内容を最終保障供給料金に反映いたします。

中部電力ミライズ公表資料

2-3. 燃料費調整制度の変更① -概要-



- 電源構成は、2014年の特別高圧・高圧の料金見直し時から変化しています。石油・原子力の電源割合は0となった一方、燃料価格ではなく「卸電力市場価格」に由来する電源割合が増加しております。
- 卸電力市場価格に由来する電源調達の多くは、FIT制度によってミライズが買い取っているものです。FIT制度によって買い取る電気は、卸電力市場価格に連動した負担をするよう国が定めております。
- 燃料費調整を見直すことで、「①火力構成比の見直し」「②卸電力市場価格の反映」を実施します。

<電源構成のイメージ図>

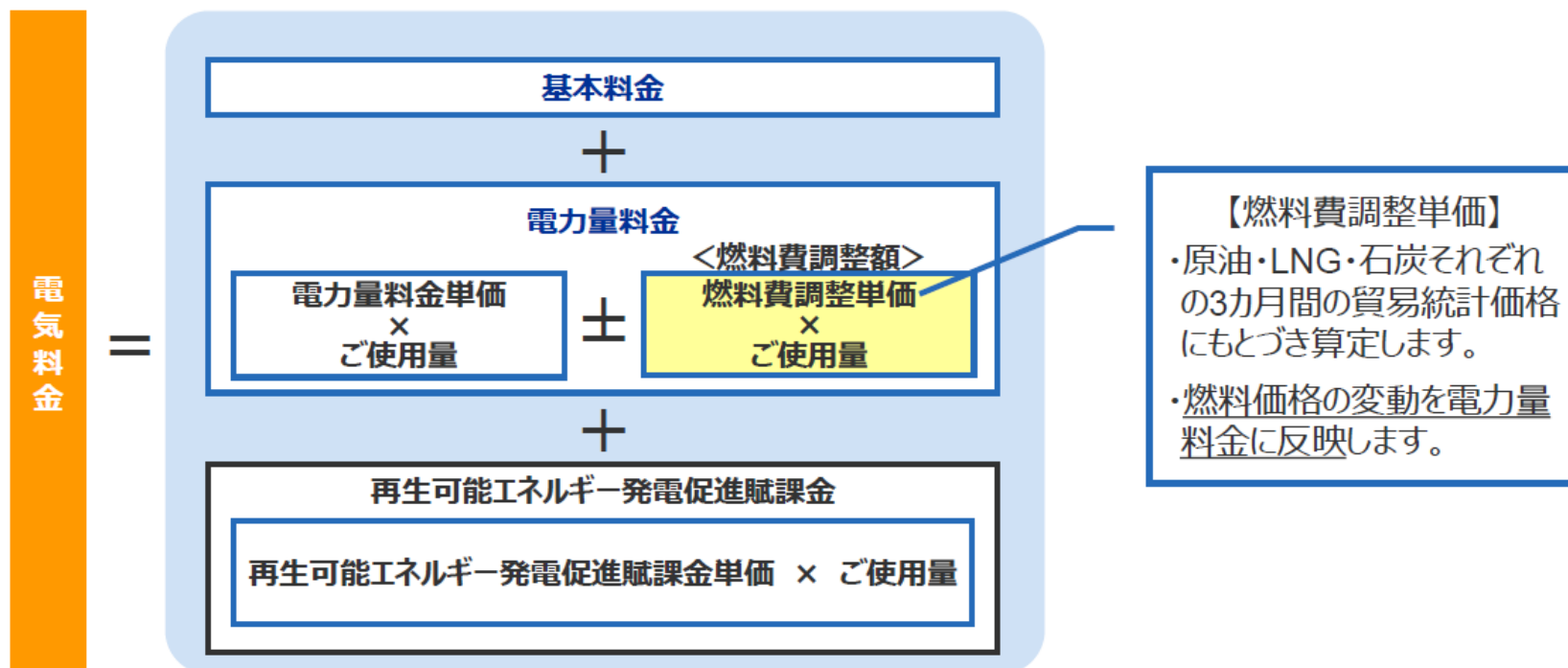


中部電力ミライズ公表資料

2-3. 燃料費調整制度の変更② -現在の仕組み-



- 火力発電に必要な燃料（原油・LNG・石炭）の価格は、市場や為替などの外部要因により変動します。燃料費調整制度は、これらの燃料価格の変動に応じて電気料金を調整する仕組みです。

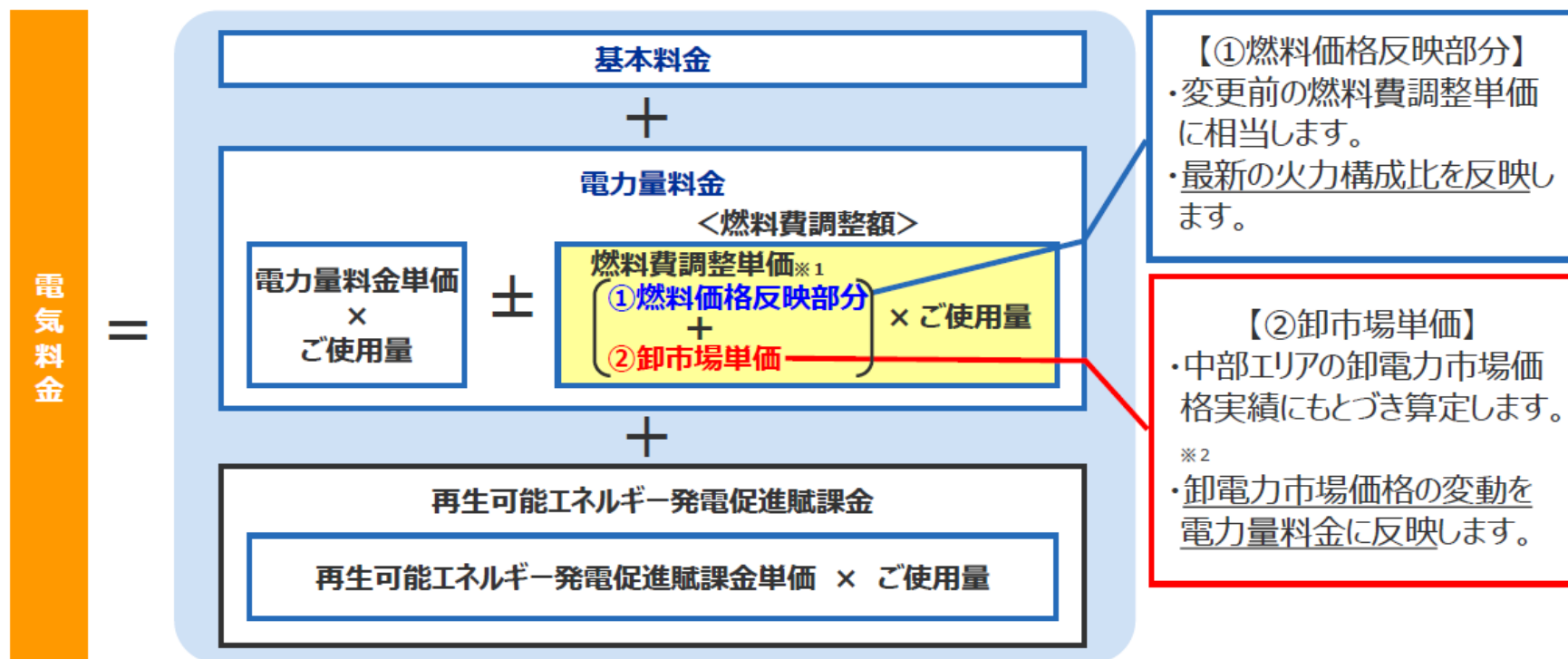


中部電力ミライズ公表資料

2 - 3. 燃料費調整制度の変更③ -卸電力市場価格の反映-



- 卸電力市場価格の変動を電力量料金に反映させる仕組みを新たに導入いたします。
- これは、FIT買取相当分（電源調達量の約9%、調達価格は卸電力市場価格に連動）については、ミライズの卸電力市場からの調達低減に向けた努力が及ばないものとして、燃料費調整制度の対象とさせていただくものです。



※1 燃料費調整単価および卸市場単価の単位は、1銭とし、その端数は、小数点以下第1位で四捨五入いたします。

※2 卸電力市場価格実績によりがたい場合は、インバランス価格等にもとづきミライズが決定した値といたします。

中部電力ミライズ公表資料

2-3. 燃料費調整制度の変更④ -卸電力市場価格の反映-



- 卸市場単価は、毎月の「平均市場価格」と「基準市場価格」の差額に、「卸市場率」を乗じて算定いたします。
 - ① 平均市場価格：算定期間における6-18時※の中部エリアの卸電力市場の平均価格
※ FIT制度による電力買取の大半が太陽光発電に由来するため、名古屋市の日の出一日の入の年間平均時の卸電力市場を参照しております。
 - ② 基準市場価格：価格変動の基準値（2021年9月～2022年8月の6-18時の中部エリアの卸電力市場の平均価格）
 - ③ 卸市場率：電源調達におけるFIT買取による調達比率（9%）に損失率と消費税率を加味したもの

$$\text{卸市場単価} = \left(\begin{array}{c} \text{平均市場価格①} \\ \text{[毎月変動]} \end{array} - \begin{array}{c} \text{基準市場価格②} \\ \text{[19円37銭]} \end{array} \right) \times \begin{array}{c} \text{卸市場率③} \\ \text{[特別高圧 10.1\%]} \\ \text{[高圧 10.3\%]} \end{array}$$

(燃料／卸電力市場価格の参照イメージ)

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
5月1日～7月31日の燃料価格			→		10月分 電気料金	11月分 電気料金
5月1日～7月31日の卸電力市場価格			→			
6月1日～8月31日の燃料価格			→			
6月1日～8月31日の卸電力市場価格			→			

中部電力ミライズ公表資料

2-3. 燃料費調整制度の変更⑤ -算定諸元-



- 新しい燃料費調整の諸元は、以下のとおりとなります。
- 基準燃料価格の元となる燃料価格（原油:65,706円/kℓ、LNG:82,406円/t、石炭:10,702円/t）は、前回料金見直し時（2014年）から変更しておりません。

<燃料費調整単価の算定式>

$$(\text{平均燃料価格} - \text{基準燃料価格}) \times \text{基準単価} \div 1,000 + (\text{平均市場価格} - \text{基準市場価格}) \times \text{卸市場率}$$

項目		見直し前	見直し後
基準燃料価格		45,900円/kl	42,000円/kl
基準単価 (税込)	特別高圧	22銭0厘	19銭3厘
	高圧	22銭3厘	19銭6厘
換算係数 ($\alpha \cdot \beta \cdot \gamma$)	原油	0.0275	-
	LNG	0.4792	0.4381
	石炭	0.4275	0.5545
基準市場価格		-	19円37銭
卸市場率	特別高圧	-	10.1%
	高圧	-	10.3%